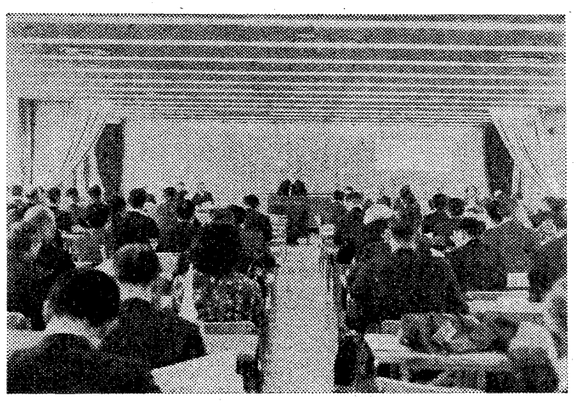
関大
発行所
関西大学校友会
吹田市山手町3丁目3番35
発行人　神屋敷民蔵
電話大阪(388)1121代表
振替口座大阪55594番

コンタクトレンズ
メガネ
大学堂
京阪京阪ショッピングモール
ミナミ地下センター虹のまち
心斎橋
阪神百貨店
第一生命ビル専門大店

46年度 定例代議員会開く

多彩な事業計画
事業、収支予算案を承認

校友会昭和四十七年度の事業計画ならびに収支予算書を審議する定例代議員会は、三月二十五日午後二時から大阪北浜・大阪証券会館に約二百名出席して開かれ、執行部原案を満場一致承認した。とくに本年度は平年度事業のほか校友名簿の発行、本部役員の改選、法人評議員の改選に伴う校友評議員候補者の推薦など例年にない重要な行事が予定されている。なお校友名簿特別委員の発表、本部事務機能整備計画の推進経過も併せて報告があった。


46年度定例代議員会であいさつする樫本会長

当日は、田村総務副部長の司会で、最初に学歌を千巌組織副部長の発声で声高らかに斉唱、来賓ならびに本部役員紹介と型通りに進み、次に樫本会長から、

「本日は母校関西大学の卒業式に当たり、幸い支障なく極めて和やかに行なわれており、多くの卒業生が新たに会員に加わっていただくことを皆さんと共に祝福したい。ご案内の通り、本日は昭和四十七年度の校友会事業計画書と収支予算書の承認を賜わる代議員会であるが、ことに本年度は校友名簿の発行、校友評議員候補者の推薦、本部役員の改選など、例年にない重要な行事が予定されているので、代議員の各位には格段のご協力をお願いしたい」旨の挨拶と要請があった。

次いで議事に入り、松村、大森正副議長の下で議案を上程

一、昭和四十七年度事業計画書承認の件

坂本総務部長から提案理由を説明。要約すると

①校友総会の開催（任期満了による代議員改選の件を付議するほか、親睦を中心とした催しを十月中の日曜日に開催の予定）

②校友名簿の発行（四年目毎に発行する全卒業生を収載の校友名簿を十一月刊行を目途に特別委員会を設置し、名簿事務局をおいて作業を進める。なお、本年度新卒業生単冊名簿は七月上旬発行の予定）

③新聞「関大」の発行（創刊十七年、本年六月号は二百号に当たるため記念特集を企画、また郵送料の大幅な値上げは打撃であるが、機関紙の使命の重要性に鑑み、遂行に万全を期したい）

④見学会・海外視察・出版の企画（昨年度に引続いて会員の教養に資する見学会を計画するほか、第三回海外視察団の募集、機関紙"関大"に連載した「関西大学を築いた人々」の出版などの企画を予定）

⑤組織活動の推進（組織活動の積極化に力を注ぎ、停滞した支部などのないよう本部との交流を密にし、かつ全国地域支部代表者懇談会と職域・同期・各種団体代表者懇談会を開催し組織強化につとめる）

⑥会員の慶弔（本会の目的である会員相互の交誼を厚くするという柱に添い、洩れなきよう慶弔の意を表することにつとめる）

⑦学生援助―クラブ活動の援助―（学友会をはじめ、文化・学研・体育その他傘下の各クラブ、学生の行う諸活動について、つとめて援助を行い、意義ある学生生活の助言など、学生のとの接触を通じて相互の理解と信頼を深めることにつとめる）

これら七項目の事業計画のほか他方本年度は本会の役員、法人の評議員ともに改選期に当たっているため、本部ではそれに伴う校友会の代議員のほか、執行部の選出をはじめ校友評議員候補者の推薦を行なうことになる。

二、昭和四十七年度収支予算書承認の件

畑下財務部長から提案理由を説明

イ、普通会計　諸物価高騰の折に拘わらず、昭和三十九年来会費の改訂なく、今年も在来の方針を変更することなく予算編成と取組み、ことに①会員数の激増に伴う事務局の拡大強化　②具体的事業計画に対応する支出予算の確保を中心に検討、長期展望に立って緊縮の要素を持つが、積極的に会費を遂行するに足る財政の維持につとめた。（収支各費目ならびに前年度対比については前号参照）しかし長期展望に立って眺めた場合、現状の会費でよいかは検討段階に来ている。

ロ、予納会計　ハ、終身会計　ともに前年度同様に見積る。予納・終身の両会計の繰越額を前年度対比すると僅差の減少で、財政悪化を招かない編成とした。

以上の提案説明のあと、質疑に移り、両議案とも異議なく執行部原案を承認した。

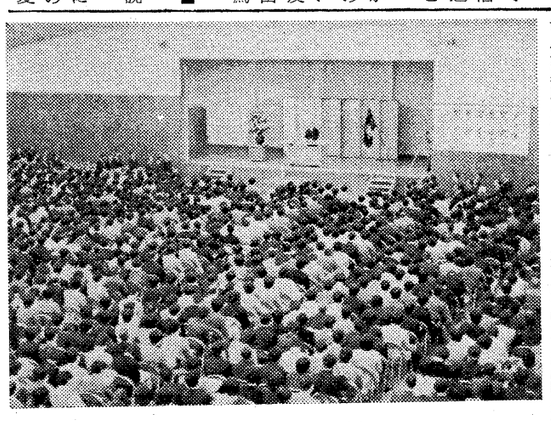
このあと樫本会長から、校友名簿特別委員会の委員委嘱結果を報告、左の各氏となった。

【法人側】常務理事今井康兼、企画室長田中一郎、総務局長代行金田雅一、財務局長代行北岡栄一、大学事務局長内田兼俊

【校友会側】副会長稲野治兵衛、総務部長坂本龍夫、事業部長高橋孟、広報部長藤田令丸、組織部長金本朝一、財務部長畑下辰典、事務局長神屋敷民蔵（以上敬称略）

また大島副会長から、本部事務機能整備計画の推進経過を報告、現在データー・カード調整作業が進行中であり、現在の作業工程では六月上旬ごろ調整完了し、機器による住所・職域分類も作動の予定である旨報告があった。

最後に卒業式多忙の中を出席の久井理事長から、昨年十月来の学費改訂に伴う紛争での殺人事件、学長襲撃事件の惹起、入試粉砕にからむ学舎の損壊等の経過を詳細に報告のあと、母校財政の現状と見通しについて近況説明があった


広瀬学長の告辞に聞きいる新入生

高松塚古墳の壁画

高松塚古墳で発見された極彩色婦人像の壁画

網干　善教
（文学部助教授）

去る三月一日以来、奈良県高市郡明日香村にある高松塚古墳の発掘調査を実施してきた。この調査は明日香村の依嘱を受けた橿原考古学研究所が、所長であり本学名誉教授の末永雅雄先生の下で、私たちが現地を担当し、主として関西大学考古学研究室の学生諸君が参加して行なってきた調査であった。

この高松塚古墳は、江戸時代の文献によると、文武天皇陵と考えられていたことがあったが、文武陵は現在高松塚古墳の東南約二六〇㍍のところに御治定になっている。それ以後学界でもほとんど気付かれない程の小さな古墳であったが、数年以前凝灰岩の切石の一部が出土したらしいが、その後この話を聞き、実際にみてみると確かに古墳の一部であることが判明した。そこで応急に研究室の学生諸君をわずらわし、墳丘の測量を行なっていたが、付近の宅地造成や村史編纂事業などが契機となって、発掘調査を実施することになった。

三月二十一日にいたって石槨内に壁画があることが判明した。最初これを見たときは自分疑ったが、やがて人物像、四神などが極彩色で画かれていることを確認したときは驚いた。

壁画は凝灰岩の切石で構築された側石、奥壁の上に漆喰をぬり、その上に画かれてたもので、東壁の南側に男子像四人があり、中央には青龍とその上に白虎、さらに北側には婦人像四人がある。

次にこれに対する西壁側を南からみると、手前に男子像四人があり、続いて中央に白虎、その上に東の白像に対して月像があった。さらに奥側の壁面には婦人像四人が鮮やかに描かれていた。

北正面の中央には亀と蛇をあしらった玄武があり、天井石には金箔をはりつけ、赤い線で結んだ星宿（星座）が表現されていた。

このような壁画に囲まれた石槨のなかには、木棺に布をはり、漆を塗った棺の一部や海獣葡萄鏡、棺金具など出土した。

私たちはこの狭い石槨のなかで数日の間発掘調査に従事した。わずかに入りこむ明るさと、手に持つ懐中電灯でみる人物が、四神が、そして星座が、まさに幻想的な世界であった。

築造年代は何時か？　被葬者は誰か？　新聞は各氏の意見を大きく報道した。それに影響されて見学者は殺到し、さわぎが目に大きくなっていった。しかしそれらの判断は軽率であってはいけない。興味本位の関心だけで終始してはいけない。

確かに高松塚古墳の壁画は私たちの担当した調査によって検出された。そして私たちは見た。それなればこそより慎重でなければならない。

高松塚古墳の壁画は、また副葬遺物は単に考古学上だけの問題ではなく、文化史的にも、さらに天文学や人類学の分野にも大きく貢献し、一部法学部七五八名、文学部五三五名、経済学部七二八名、商学部六三三名、社会学部六七六名、工学部一、〇三七名、計四、三三七名。二部法学部三五七名、文学部一三一名、経済学部一五四名、商学部一七八名、社会学部四八名の計八六八名で、総計五、二〇五名。

昭和四十六年度の卒業式は、三月二十五日午前十時から、法学部文学部、社会学部、午後一時から経済学部、商学部、工学部の二回に分けて千里山学舎体育館で行なわれた。

式は昨年より簡略化され開式、学歌斉唱、卒業（学士）証書授与、広瀬学長式辞、卒業生総代答辞、送歌、閉式の順に行なわれたが、式場は女子卒業生の振袖姿が花を添え、はなやいだ雰囲気。

式辞にたった広瀬学長は「卒業生諸君は日本の大学が大きく揺れ動いている時に入学され、卒業仕上げの時にも学費問題等で落着きませんでした」「近頃は私たち教育者が思っている以上に、世間は学生と称する者を甘やかしているように思います」など紛争の続いた時期に勉学した新卒業生に対する式辞を述べたが、卒業生も自らの思い出にひたる様に静かに聞き入っていた。

春の学舎に二つの喜び
五、二〇五名が巣立つ

昭和四十五年度入学式は、四月八日、一部は午前十時から法学部商学部、工学部、午後一時から文学部、経済学部、社会学部が千里山学舎体育館で、二部は全学部とも午後五時半から天六学舎体育館で行なわれた。

式は開式、広瀬学長告辞、入学生総代宣誓、学歌斉唱、閉式の順に行なわれ、告辞の中で広瀬学長は「目的は手段を正当化しない」など学園紛争について述べた後、新入生に贈る言葉として、「良き師を選び、良き友を得、良き本を読んでもらいたい」としめくくった。

今年は一段と学生服姿が減り、式場の中も卒業式とあまりわからない感じであったが、それでも新入生は父兄ともども緊張した面もちで広瀬学長の告辞に聞きいっていた。式後は各学舎に向かい、履修届などについて説明を受けた。

また学内のあちこちには祝入学入部歓迎の立看板が並び、各クラブとも新入生の入部を勧めていたがあいにくの雨で、例年と勝手が違うのかサッパリの感じだった。

四月十二日現在の履修届提出者（新関大生）は、一部法学部七一〇名、文学部六一八名、経済学部八五九名、商学部七〇四名、社会学部九〇一名、工学部一、二七一名で計五、〇六三名。同二部は法学部二六〇名、文学部一一〇名、経済学部三二九名、商学部一三二名、社会学部七五名で計九〇六名。総計五、九六九名。

大学院は一二九名

一方大学院修了者に対する学位記授与式は、三月二十七日午前十時から第一学舎第二会議室で行なわれた。本年度の修了者は修士課程一二七名、博士課程一二名の計一二九名だった。

大学院入学式

また昭和四十七年度大学院入学式は、四月十日午前十時から第一学舎第二会議室で行なわれた。入学者は、修士課程二三三名、博士課程一八名の計二四一名。

位二十校は別表のとおり。

六千余名が新入学

志願者・合格者出身校別上位20校一覧
（一・二部合計）

順位	47年度 学校名	府県	志願者	合格者	46年度 学校名	府県	志願者	合格者
1	※関西大倉	大阪	537	70	※桃山学院	大阪	630	157
2	※桃山学院	〃	511	161	※関西大倉	〃	629	52
3	東住吉	〃	475	130	※明星学園	〃	553	64
4	鳳	〃	448	157	東住吉	〃	518	145
5	※上宮	〃	434	79	鳳	〃	487	118
6	阪南	〃	429	140	※上宮	〃	480	74
7	※明星学園	〃	426	78	富田林	〃	450	147
8	富田林	〃	424	121	阪南	〃	447	125
9	※浪速	〃	401	51	泉陽	〃	444	128
10	布施	〃	400	112	※浪速	〃	419	68
11	寝屋川	〃	390	137	布施	〃	412	98
12	大和川	〃	366	59	※滝川	兵庫	398	52
13	阿倍野	〃	362	97	寝屋川	大阪	384	124
14	泉陽	〃	358	113	阿倍野	〃	383	85
15	桜塚	〃	349	84	枚方	〃	377	80
16	※滝川	兵庫	331	56	勝山	〃	376	54
17	山本	大阪	329	68	山本	〃	373	63
18	千里	〃	325	97	桜塚	〃	367	60
19	箕面	〃	324	101	大和川	〃	364	55
20	春日丘	〃	323	125	春日丘	〃	361	107

注　※印は私立

関大生22名が協力

高松塚発掘調査に参加して

法・4　石田　修

三月二十一日の壁画検出より新聞発表までの一週間、壁画がこれほど重要なものという実感がわかなかったが、発表以来のあのさわがしさによってあらためてこの壁画の重要性を認識した。

この古墳の調査は、おそらく卒業後発掘に参加する機会がない僕にとって、一生のうちでもっとも記念すべき思い出となるであろう。二十一日の出来事はいつまでも心の中に残って決して忘れることはないだろう。ただ残念なことは、新聞発表以来だんだんと僕たちの手から離れてゆくように感じられることである。

しかし、新聞報道等によって、一般の人が少しでも埋蔵文化財に対する認識を深めて下さることになれば、文化財が開発の名でもって次々と消えてゆく時代において僕は大変うれしく思う。

文史3　中上京子

三月一日より始った高松塚古墳の発掘調査は、三月二十六日の新聞関係者と見学者によって、それまでの静寂は破られ、作業のペースにも狂いが生じた。新聞で華々しく報じられるとともに、その論議は私たちから離れていくように感じられた。世紀の発掘と騒がれて久しくなる。私たちは、事の重要さを改めて認識している。

今回の高松塚古墳の発掘調査には、関西大学考古学研究室の学生二十二名が参加し、壁画検出の陰の力となって活躍した。

▽発掘調査参加学生

壽田博　吉岡哲（以上院生）　灰掛薫　藤原学　松本信夫　直宮憲一（以上史学科新卒業生）　石田修（法四）　岩田武志　東水津子（史四）　森岡秀人　中上京子　中川艶子　吉岡徳子（以上史三）　橋高和明（社三）　西智規　今井雅子　柴田育子　村井政一　亀島重則　藤原純一（以上史二）　合田和男（哲二）　足立義之（経二）

関大人事
（教育職員）

【退職】

▽文学部　教授　進藤浩一郎
▽商学部　今西庄次郎
▽社会学部　藤間常太郎
▽経済学部　越後和典
▽社会学部　助教授　横学
▽工学部　高岡宣善
▽文学部　中川陽世
▽工学部　福田満男
▽工学部　助手　桑田浩志　小泉勇治郎
佐藤酒治　徳永医宜　平尾幸太郎
宮崎興一　副手　藤井善通
▽工学部　畠中伸敏

昭和四十年京都大学大学院卒
昭和四十一年関西大学教授
今西庄次郎名誉教授

今西名誉教授

関西大学では、三月末をもって定年退職した商学部今西庄次郎教授に対して、教授として教育上学術上の功績が特に顕著であったとして名誉教授の称号を贈った。

今西教授に名誉称号

【新任】

一高　▽教諭　武部三郎
教授　▽文学部　福尾狂市郎
村上不二雄　▽工学部
助教授　▽経済学部　細見英
山岡一三
専任講師　▽法学部　高森八四郎　▽文学部
粕谷守孝　田中逸郎
助手　▽文学部　柳洋子　▽商学部　加藤義忠　広田俊郎　永吉基治　▽社会学部
中道実　▽工学部　稲田誉紀　越智光一　芝田誉次
副手　▽工学部　岩間秀樹
川相誠　木村寿夫　山野隆章
一高　▽教諭　林省之助　村瀬保夫

【昇任】

教授　森省三　沢田嘉貞
田中昭平　戒田郁夫
神保一郎　玉木興乗　高柳竜芳
中辻卯一　前田卓　太田義一
沼倉助　徳山泰　山田富貴子　矢野章成　小泉義勝　岩崎憲次　笠田欣
助教授　治　木村章二　末吉
崇晩　筒井倚　田崎篤郎　小谷節男　井藤一良
専任講師　伊藤誠宏　橋本元木久　岡部孝好　松尾圭正　山本義徳　横田茂　征治　加勢田博
助手　追永豊　吉本英雄

会と催し

▽八尾支部主催　飛鳥史跡見学会（一班）・京の新平家物語見学会（二班）　五月二十八日（日）貸切観光バス、参加ご希望の方は往復ハガキに住所、氏名（家族同伴の方は人数）、電話番号（自宅、勤務先）、参加班別を記入の上、八尾市北本本一三四一四水野富蔵方校友会八尾支部まで。

▽自動車関大会総会　五月十二日午後六時三十分、南のニューミュンヘンにおいて開催。会費千円

〈新卒の皆さん〉

本年三月卒業生の校友名簿を七月上旬に発行します。ご希望の向きは至急ご送金願います。

頒価六〇〇円（干共）

564　吹田市山手町三―三―三五
関西大学校友会
振替口座　大阪　五五五九四番

葬の雫

さくら咲く、一年のうちの、いちばんの行楽シーズンである。霞たなびく野山は仏閣、これというあてもなく、騒音と塵埃の都会から、眼の保養のため、神経の安らぎのため、または、大自然に浸されたうまい空気を求めて人びとが楽しく動きまわる▼しかし、そうした反面、人の世ともあろう、現代社会に、ここしばらく、ショッキングなことが起こりすぎるようだ。たとえば、連合赤軍事件、あるいは、己れの小使いほしさに、実父をなぐり殺したあくどい事件、または、八千万円の前金（噂では）とかで、裏口入学を許す浪速医大の事件、それらのことがテレビで、新聞で、拳（こぶし）のような大きな活字で報道される▼それは、前夜から、グッスリ眠って、気持のよい朝をむかえたその時、そうしたトゲトゲしい活字をみると、ギョッとした気持になる。目覚めた朝は、幼児の頭脳のように、水晶をつめたかのように新鮮な頭と心に、そのとき一瞬、微妙な痛みと、複雑な刺激を感じる▼さて、それらに比べ、最近、ホットなうれしい報道は、飛鳥の高松塚墳墓の発掘である。まったく驚嘆すべき大発見である。しかも、それが、わが関大の人たちによって発見されたということに、いっそうおおきな喜びを覚える。なにしろ、壁画発見いらい、連日のように、末永博士や、網干助教授の名前が新聞などにでる▼人間だれしも、自分が関係し、自分にいくぶんでもつながりのあることについて、世間がおどろき、称揚してくれるということは、うれしいことである。ことに、それが、こんどのように、世界的な、文化財、千数百年以前の生きた史実の発見ということゆえ、われわれ関大出身者としては、この上ないうれしさである▼しかし、このことは、末永博士の該博な考古学、老いをしらない日々の研究や指導、また二面、網干助教授のたおれて後やむもどの熱意が、結実したもので、お二人の平素からのご努力に対し心から敬意を表するとともに、発掘にあたった学生たちの労苦も称えねばならぬ。

カタノよい　カタノこころぬ　カタノくずれぬ　カタノ洋服店
最高のおくりもの
カタノ紳士服地
片野洋服店
大阪市東区北浜三丁目北浜駅西百米
電話大阪(231)〇五六五～七
大阪駅前店　第一生命ビル　専門大店
電話　大阪(341)〇七九二
上六近鉄百貨店紳士服サロン　テーラーカタノ

プレゼントのお考えはきまりましたか
ビジネスバッグ・旅行カバン
GIFT 贈答好適
サイフ・ハンドバッグ・カバン専門卸
ご一報者にカタログ急送
K.K廣島屋本店
取締役社長　蔵田廣造
(昭和25年　経済学部卒)
〒541　大阪市東区博労町1―26
TEL 06―261―2431

配管材料　総合問屋
TRADE MARK EVEREST
指定問屋　東洋バルヴ株式会社
指定代理店　住友金属工業株式会社
株式会社北沢バルブ
特約販売店　日立金属株式会社
代理店　株式会社北斗バルブ製作所
株式会社イズミ製作所
株式会社吉田バルブ製作所
中嶋バルブ工業株式会社
株式会社田渕製作所
佐野鉄工株式会社
東亜樹脂工業株式会社
株式会社寺岡製作所
江守バルブ株式会社
取締役　江守和一(昭和41学1法)
本社・大阪市西区立売堀北通4丁目51番地
〒550　☎大阪(06)(532)6321代表
出張所・新居浜・鹿島・大分・高岡・福岡・鹿児島

事業経営参考書・李達雨著
―祝新入学―
事業人の法律常識　上・下　菊判　各三〇〇余面　各一、二〇〇円(韓貨)
手形・手票実務相談　菊判　二、五〇〇余面　五、〇〇〇円(韓貨)
会社経営問答　菊判　三、六六〇余面　三、〇〇〇円(韓貨)
会社の執務指針　四六判　一、五〇〇円　三五〇余面(韓貨)
債権回収と債務整理　菊判　二、三〇〇円　三八〇余面(韓貨)
商法ミニ常識　三六判　七〇〇円　二〇〇余面(韓貨)
株主総会と理事会　菊判　一、五〇〇円　二三〇余面(韓貨)
発行所　漢陽事業経営研究所
韓国Seoul特別市中区明洞二街五四
電話㉒六八九八　対替口座Seoul四〇七

PHPの本・こころの本
新刊
大山康晴著　人生に勝つ　B6判　上製本　五八〇円
またも王座を守りぬいたこの驚くべき強さの真髄は……名人がはじめてみずからを語る
宇井無愁著　生活の中の笑い　B6判　カバー装　五〇〇円
現代に生きる江戸小咄
豊かな笑いを失わなかった江戸庶民の心意気
4月下旬発売
中村菊男著　嵐に耐えて　B6判　上製本　五八〇円
昭和史と天皇
PHP研究所普及部　〔601〕京都市南区西九条北ノ内町11

運転免許は校友がお世話する
〝大阪城東の〟
公安委員会指定
都島自動車教習所
大阪市城東区別所町157
〒536　TEL(06)912―7171
担当　太田清太郎(昭29,学2法)
優待証　関大
校友、在学生、又は校友紹介の方は左の優待証を切り取り持参下さい。授業料割引きの特典あり。

北から・南から　各地支部だより

多彩　会計人の集い

関西大学会計人クラブ総会

関西大学会計人クラブ総会は、三月十八日午後六時から、大阪中之島〝新大阪ホテル〟に、久井理事長・広瀬学長、樫本校友会長、植野商学部教授を来賓に迎え、和歌山・京都・奈良・神戸をはじめ馳せ参じた校友五十余名参席のもとに盛大に開催した。

当日は業界の繁忙期確定申告手続を終えた早々の土曜日、多少出足が心配されたが定刻時には、予想をこえる出席者となり、しかも大安吉日とあって会場にあてられた〝新大阪ホテル〟は、新婚カップルの誕生を寿ぐ、お祝いムード満喫の会場風景の中を総会が持たれた。

総会は坂本龍夫氏の司会で、学歌を斉唱のあと、代表世話人の吉田鹿之助氏から「母校出身者で会計関係業務に携わる人は、近畿ブロックだけでも約五百人といわれている。同学同窓による肩のこらないクラブ的な集いとして、今日の総会をもつことができたことを機に、今後一層交流を密にし気楽な会として発展させたい」と挨拶。

次いで多忙をさいて出席の理事長、学長、校友会長、植野教授の各氏から母校の近況と祝辞が併せ述べられ、なかでも本総会をわがことのように喜ばれていた植野教授は、母校会計学陣容の近況を報告されたあと、校友会計人への謝意を、遠く昭和三十三年本学で開催の日本会計学会全国大会時に遡って、噛みしめるように述懐された。

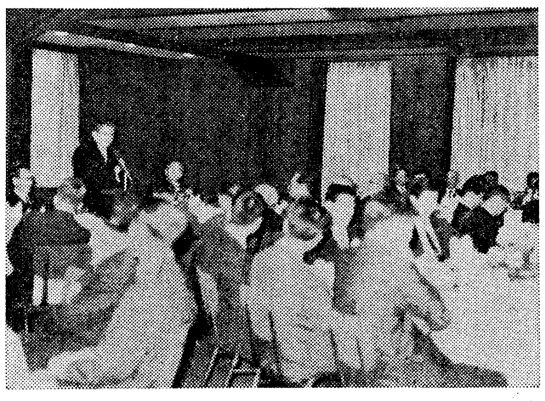
かくして懇親会にうつり、最長老藤原龍太氏の発声で乾杯、自己紹介では、業界での役職、卒業期等の隔たりを超え、中には三一四名グループとなり〝十三年組〟〝十七年組〟〝二十五年組〟と紹介の続くあたりはさすが会計人の陣容多彩と感服するものがあり、親睦ムード溢れる中を、羽賀一郎氏の発声で万歳唱し散会したのは八時すぎであった。

なお当日の申し合わせにより代表世話人支障あるときは代行事務を羽賀一郎氏に一任することに決った。

総会終了後の世話人会では、ブロック別名簿を下に、組織の拡充をはかることなど協議した。

会計人クラブの連絡事務所は次の通りである。

大阪市南区高津町五番十30番地　坂本龍夫会計事務所（電（六三一）一八〇三）


会計人クラブ総会であいさつする広瀬学長

大阪府庁秀麗会であいさつする黒田知事

支部長に中塚氏

黒田知事を迎えて総会　大阪府庁秀麗会

大阪府庁秀麗会は、四月八日午後二時から府庁別館八階食堂に、黒田大阪府知事をはじめ校友府議など多彩な顔ぶれが参集し昭和四十七年度総会を開催した。

当秀麗会は、昭和四十二年の六月に総会を持って以来、久しく途絶えていたのであるが、昨年の地方選挙では十六名の校友府議が当選し、府議関大会が持たれるなどの事情もあって、本格的に組織の建直しに着手、名簿再編の結果八七四名に及ぶ会員を把握、当日の運びとなったものである。

さすがに結束力は強く、定刻すぎには、会場ところ狭しとOB、現役続々と参集、同窓ならではの心温まる会場風景が随所に見られる中を、折柄の多忙をさいて黒田知事が参席する頃開会となった。

冒頭挨拶にたった黒田知事は、「地元大阪の府政推進に重要な役割を担っている関大OB諸氏によって、今後の府政に新風を注入いただくよう期待する」旨の期待と激励のことばがおくられた。

続いて寺西府議から、十六府議中当日出席の藤井・佐々木・亀谷・田中・山本の各府議を紹介のあと、包みきれぬかの如く本総会開催の喜びを示す挨拶があった。

このあと大島校友会副会長・OBを代表して吉田一郎氏等々より祝辞が続き、議事に入った。

型どおり会務報告の承認のあと当日の主要議事である役員改選の件は、議長（能勢正夫氏）一任の結果、次の通り満場一致承認した。

【支部長】中塚良夫（議会事務局長）【副支部長】中矢喜男（商工部次長）【幹事長】梅沢誠治（民生総務課長）【副幹事長】福田順一（人事委員会総務課長）篠原昭三（職員研修所企画課長）【会計幹事】森正十之（北部公園事務所主査）森川清司（監査委員会事務局第一課長）

なお幹事ならびに会計については人事異動等の関係もあって、後日支部長によって推薦することになった。

但馬支部再建なる

支部長に山田久氏を選出

校友会但馬支部は、三月二十六日午前十一時から豊岡市民会館会議室において久しぶりの総会を開き、再建の一歩を踏み出した。

但馬支部は、支部長米田兼光氏の逝去により組織の建直しが期待されていたところ、在来の但馬OB会（豊岡市在住校友による）の下で、その準備会が持たれ、本部校友名簿を手懸りに会員の把握につとめ、七十余名の在住者を確認、地方紙を通じ総会の呼びかけをするなど、昨年十月来準備に着手していたものである。

それだけに総会当日は、開催まもない新装なった豊岡市民会館を会場に、豊岡市を中心に、片道二時間の不便をいとわず香住、日高養父の各郡から、集う校友二十八名、地方支部のみのもつ母校を憶う皿の通った同窓の集いとなった。

総会に先立ち歌を斉唱、続いて、経過報告では「昨年九月の本部舎国支部長会議に出席したことが再建の端緒となり、先ず着実に歩んでいる」旨の報告があった。

当日の出席会員は次の通り。

池田稔信、石川昌司、上田高観、上野末光、植田稔、大森一雄、大森文雄、柿本鳳三、金丸三八治、川口清、川崎宗一、木村繁男、岸本聡、葛原三二、国分辰男、国分吉広、佐々木六三郎、坂井忠男、坂本龍夫、酒川敏利、篠田要、嶋謙三、島津徳三、高野辰一郎、滝本弘夫、中谷政男、羽賀一郎、橋田義明、原井豊二、日野上輝夫、二見豊一、藤田正弘、藤原龍太、牧村正夫、増井清次、宮口明、宮越切、宮田紀雄、本倉録道、森田森、森田勇、矢木孟、山神清二、山崎勇正、山田栄一、山本守昭、吉田鹿之助、米山正次

但馬支部総会に出席した人びと

会長に宇津呂氏

関大一高同窓会

関大一高同窓会定例委員会は、去る三月二十九日午後六時から、大阪駅前第一生命ビル九階〝好文クラブ〟に三十五名出席して開かれた。

当日の主要議案である会長改選の件は、第三代会長に副会長の宇津呂雄逸氏（昭26一高、昭30学一法、弁護士）＝写真＝を満場一致選出した。（四月一日付より任期二年）

なお会長以外の役員は執行部と顧問団との合議によって選出することになるが、当日の委員会で、卒業期のバランス等を配慮し、会則にある副会長三名を〝若干名〟とし、総務、会計等の業務もできるよう改正することを承認した。

実績を重ねることを主眼にした」と説明、このあと役員を選出（後掲）し議事を閉じた。

昼食時を、本部から出席の金本組織部長、藤本事務局次長より、母校、校友会の現況を詳細に報告、母校の近時の隆盛にしばらくを熱心に聴き入った。

次いで、当日の催しの一つである公開講演会に移り、地元前代議士伊賀定盛校友の戦友で、ドケチ男の異名の高い吉本晴彦氏を講師に、ケチの概念、目的等、大阪商人のもつ合理的精神を、ユーモアたっぷりに講演。聴衆の喝采を浴びた。

最後に懇親会で、お互いの交歓を深め散会したのは四時すぎであった。

新役員は次の通り。

【顧問】伊賀定盛、西村計重【支部長】山田久【副支部長】堂垣壽大夫、千葉純一郎【ブロック担当幹事】（豊岡）荒木啓喜、芝地邦彦（出石）森川正二、中井弘（朝来）林田（城崎）垣谷次郎、北井盛雄（美方）田中正芝（養父）田渕久和、西村幸町七番二一号、兵庫県北摂財務事務・山田久方　電話豊岡③一〇〇一番となっており、在住校友からの連絡を待っている。

久しぶりに開かれた喜楽会の総会

久しぶりに喜楽会総会

喜楽会（昭15年一部専門部卒業生で組織）では、一月十四日大阪梅田のとり菊で総会を開催し、二十八名が参集した。

会は山崎哲英氏（当時委員長）のあいさつに続いて、自己紹介に移り、久し振りに聞く友人の声に拍手かっさい。中には卒業以来、三十三年振りに顔を合わせるものもあり、時間を忘れて愉快な一夕を過ごし、今後、年二回の総会開催を決めて散会した。

当日の出席者は次のとおり。

伊藤武夫　康順和　井上精蔵　北原逸美　当舎三七楠　天野正　青木孝夫　井上清　伊藤重信　碇久雄　大田正春　上島正治　上田亮　植田武夫　川浦正雄　片岡錠　小柳光雄　合田実夫　鳴覚　菅野誠孝　田中正巳　田辺栄三　鉄井良男　野村正直　山崎哲英　芝村久寿弥太　山岡市郎　田中敬三

西宮市役所秀麗会総会

西宮市役所秀麗会総会は、昨年十二月三日午後五時三十分から市役所地下食堂で約五十人が出席して開催された。

会は会長あいさつ、事業報告①校友総会において本部より表彰を受けた（表彰状を会場持参し全員に紹介）②慶弔・会計報告、新入会員の紹介（十四人）の順に行なわれ七時すぎ散会した。

人それぞれ

堺商工会議所の会頭に就任した堀畑岸一氏

□…三月二十二日、堺商工会議所の会頭に就任した堀畑岸一（ほりはたかんいち）氏。

「堺の発展はめざましく、現在は大きな都市になった。これまでは産業優先だったが、堺臨海工業地帯の発展にともない、公害、都市公害などが現われてきている。これからとれた産業と町の市民との調和の発展を願い、行政者と経済界とが一致して進んでいきたい」と抱負を話す。

□…昭和六年関大を卒業前、父の経営する堀富商工（株）に入社、昭和十年父がなくなり三十才の若さで取締役に就任した。以下略歴を記すと、昭和十一年堺信用組合監事就任、十二年阪南倉庫（株）取締役社長、十五年堺商工会議所副会頭就任、十八年同解散退任、二十二年同評議員就任、二十六年阪南倉庫（株）代表取締役就任、二十七年堀富商工（株）代表取締役就任、二十七年堺信用金庫理事長就任、二十九年堺商工会議所副会頭就任。四十年堺市信用金庫副理事長就任など一環して堺市発展のために努力を重ねてきた。途中戦争前には社員総数千五百人までになっていたが、二十年の空襲で全て灰になり、戦後の再建には言うに言えない苦労をしたという。

□…関大在学中、予科時代は柔道部に入部。教室を道場がわりに使って練習し、堀教授部長に頼んだが、やさしい先生でなごやかな楽しいクラブ活動ができたと当時をふり返り懐しそう。本科に入る時四段だったがクラブをやめた。本科一年の時結婚。千里山の大学巻には子供を背おって観にいったこともあるとのこと、勉強の方では外国語が苦手で、今でも時々試験の夢をみるそうである。学生時代はずっと家からかよったが往きに二時間、帰りは約三時間かかったとのこと。さらに当時新京阪の不乗同盟があり吹田の駅から歩いたこともある。

□…清濁合わせて呑む粋精神を信条とし、いろいろなことなんでも積極的に取り組みいけないことはお出すようにしているというかも経済人らしい。趣味は柔道、夫人、長男夫婦、孫四人、三男と全員で九人の大家族。明治三十九年七月生。堺市寺地町在住。昭六大法卒。

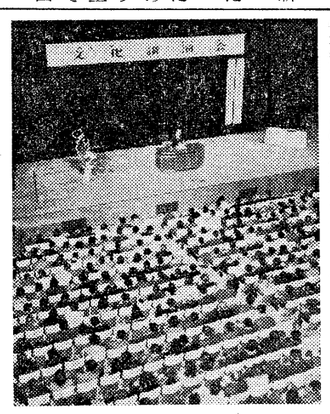
聴衆千四百名に感銘

広田教授、鳥取市で文化講演会

支部創立二十周年記念式典の際、公開講演をされ校友はじめ市民から大変喜ばれ、また鳥取に来られることがあれば、あの生々しい話を聞きたい、もっと多数の人々にも聞いてあげたい、等々の話題の先生だっただけに、今般はその一前人気もすばらしく、巷に噂を耳にする程だった。

当日の演題は「人生の自己実現」と題して一時間半にわたり、大熱弁と、興味深く格調高き講演をされ、千四百名の聴衆に深い感銘を与えられた。

人間は他者への依存から、「自主独立の立場へ依存する」と七つのポイントを示し、これが自己実


広田教授の文化講演会

ほぼ完全就職なる

46年度卒業生の最終就職状況

昭和四十六年度卒業生は卒業式も終わり、社会に巣立っていったが、就職課から最終就職状況が発表された。それによると一部九六・三%、二部八三・〇%となりほぼ昨年と同じ完全就職となった。

今年は前半好調をみせながらも九月以降は伸びなやみ昨年よりも就職決定率が悪くなっていたが、例年一〇〇名以下しか決まらない三月に二八九名（一部）もが決定し、いっきょに昨年とほぼ同じ就職決定率となった。

学部別就職率は、一部法学部九七・四%、文学部九〇・二%、経済学部九七・九%、商学部九七・三%、社会学部九三・二%、工学部九八・二%、同二部法学部八三・六%、文学部七一・九%、経済学部八三・三%、商学部九三・八%、社会学部七六・九%。

戦中戦後　関大出てから30年！　―2―

上野勝也

「声はすれども姿はみせぬ。ホンニ君らは瓶のような。アッハッハッ」。出席簿の記帳を終わった〝後藤〟ならぬ金子〝又兵衛〟教授の一笑である。―弱い方の又兵衛が先生の口癖だった―。返事の声は四十数回あったのに、教室の人影は三十二、三。まさしく代返である。というのも、予科校舎（現・商経学部）に隣接の千里山遊園地（現・大学本部のある一体）は〝花吹雪〟。心は教室にないものの、いかんせん。欠席日数が三分の一以上になると学期試験の資格を失い〝留年〟となるのだ。入学一週間。合理的な友情の芽ばえともいえないだろうか。かまわず江戸文学を語る教授の声も、山からの桜ミュジックで消されがち。我慢強くノートをとっていた柴田裕延君＝当時の〝満州〟新京の医師の子息＝の心もかき乱れた。朴訥の下駄を懐に入れると、抜足差足の脱出をはかる…。

講義が深遠にはいったころ、突然、デカンショの蛍声が飛び込んできた。遊園地の頂上で、先刻の柴田君が十数人のメッチェンを周辺にはべらせ〝予科ストーム〟の独演会だ。又兵衛先生、静かに指さして「あれが西鶴の〝味わい〟デカタンスだろうか」と。

〝名物〟教授の思い出は尽きない。朗々のスピーキングのあと美麗な訳文が続く堀正人教授のシェクスピアー。六甲の自宅前で映画〝新雪〟が月丘夢路さん主演で撮影され一層有名をはせる。「橋田君＝当時の文相＝は、ボクの一高、東大の同級生でチョット落ちた人」と胸をはる数学の河村教授。赤ネクタイの独乙語、谷教授。ギリシャ彫刻に魅せられる村上予科長の講義。そうだ。「小鳥は恋をささやいた」と小声で訳され、ポーット顔を染められた若き英文の助教授―現・学長、広瀬捨三教授の〝処女講義〟受講の光栄は忘れられない。予科の〝アイドル〟八島治一先生の数々。先生の熱弁で伝承された〝血書従軍〟の細川喜与見先輩＝現・細川事務所社長＝らの〝関大書生さん気質〟については、次号「学徒出陣」で性根を入れて書きたい。

クラス主任、三枝樹正道教授と学友、森岡重明君との〝般若湯〟問答は圧巻だった。世は非常時―。街の飲食店はすべて「学生・生徒・未成年者お断り」。未成年者より先に学生が明示されているのが憎い。書体も一倍大きい。学生課からも禁酒令が出ている。このなかで〝緑酒コンパ〟を組もうというのだから大変だ。それも堂々と浪速の乙真ん中で、食費一円也でだ。朗報が舞い込んだ。宇治電ビルの地下食堂で、クジラのテキでお銚子一本。めしは玉蜀黍入りという。すべて森岡君の〝茶ぴん〟の賜物＝もっとも比較上、疎開が速かっただけ。三年年後の現事の話がふるっている。「ただいまは、ご高徳なお説教で結構でございました。では」と切って生まれツバを飲み込み「いささかの〝般若湯〟のおぶるまいを」―。主任教授は仏門の人。サット銚子を出すメッチェンに「は、ハ、はんにやとう」。結構な馳走で…」。青春の日、葉桜の夜の宴は尽きない。他のクラスからも〝あっん〟の呼吸を聞きにくる。宣伝したといった方が正しいかも知れぬが、情報はかけめぐる。学部の先輩からまで、銚子付一円の内容と、会場のあっせんの依頼がある。剣道部の新人歓迎会も、のちに先輩出陣の借別会も〝般若湯〟祓い遂だ。梅ケ枝町のその一隅喫茶室は当時大阪最大の電蓄があった。

葉桜にかわす〝般若湯〟

17年6月の関関戦―。西宮球場での両校エール交換。右側がわが〝残党、応援団。手にする旗もマチマチだ―。

〝残党〟応援団始末記

＝終わりに小っちゃく〝応援団残党〟―。

関大の戦法は中央突破だ。予科二年の北尾・杉山の両先輩らが明大学部生の鉄壁にいどむ。が、応援いな観客席は数十人の学生がバラバラに。一流の旗はもとより太鼓もない。千成びょうたん、もとよりない。再度の突進もふっ飛ばされる。もとかしい。隣の友も貧乏ゆすりだ。中盤、同点に追ったときだ。紅顔の角帽生が、なにかワメクと、日の丸の扇子をふって舞い出した。拍手はマバラ。わが血もたぎったのか、次いで飛び出す。続いて友の菅清志君＝愛媛＝今治の人。学徒出陣のあと学園にもどらず＝が…。生まれて初の応援。指揮のすべは、もとより知らず、見たこともない。大声を挙げるだけの〝切援〟（セツエン）・ニホーム に困まり、合宿の窓カーテンを取りはずし、手づくりで新調「百々、練習の〝スペリ込み〟＝野球用語はすべて日本語だった＝は禁止する。心で想定猛烈、試合で集中発揮する」と指示したとかの秘話もある。伝統を求めての、この精進。黙視すべからずイザ応援へという次第。初夏の土曜日の午後―予科生各自が、それぞれの理由で授業を遠慮して西宮へ。ここは先方も以心伝心。休講を宣言される。予科生五百余名、午後二時には見事、西宮へ移動した。試合開始のサイレン一声。若人の胸のなかで残党応援団はひそかに、しかし堅く結成された。もっともゲーム終了とともにサット解散されるのだが。

その栄光は十七年秋から十八年師走の学徒出陣の朝までだろう。私は予科短縮で学部生であり、豊田兄は、すでに戦野にあった。後輩の剣道部員、井元弘平君＝現・近畿公安調査局一課長＝や拳法部長村正也君、秋山剛君＝現・母校職員＝らが中心の熱血の時代で、〝緑地に〝栄完成の美〟、関大の色、紫紺の布には〝偉大な莫迦〟―。碩学、藤沢黄坡教授＝作淀の河原を突き進んだといえようか。

寒川労働コンサルタント

衆議院議員寒川喜一事務所

所長　寒川喜一

事務所　大阪市西区阿波座上通一ノ二七（新松岡ビル三階）
住所　大阪市四区阿波座上通（地下鉄3号線本町駅）
電話　大阪（〇六）五四一一〇六六番（代表）
大阪市四区南堀江立花通五一三岡田マンション
電話　大阪（〇六）五四一一五〇九五番

大島特許事務所

所主　弁理士　大島武夫
弁理士　大島一公
弁理士　藤本昇

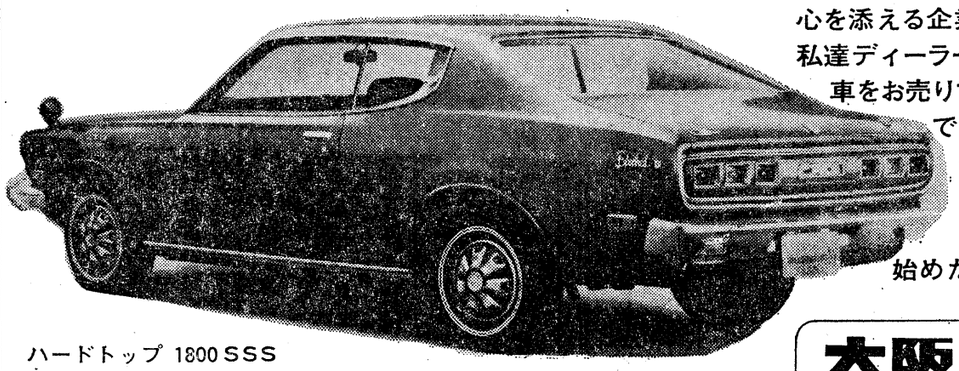
大阪市西区江戸堀北通二丁目二十五番地（とみたビル）
電話（四四一）一一〇〇・一三九四（四四一三）六一五〇

府庁人事異動

本字関係分（【　】内前職）

▽宇野隆児（昭14専）退職【商工経済研究所次長】
▽石原久弘（昭25法）総務部参事【人事課長】
▽中矢喜男（昭24法）商工部次長【知事室次長】
▽仲谷敏夫（昭16専）土木部用地対策室長【春木競馬対策室長】
▽松本純孝（昭17専経）府立東淀川専修職業訓練校長【交通対策課長】
▽浜木英吉（昭18専法）社会事業短期大学事務局長【用度課長】
▽中村忠一（昭25法）広報課参事【府立大学会計課長補佐】
▽住羽地米治（昭25専商・昭29経）企画室総合計画課参事【生活総務課長代理】
▽前田孝一（昭26経）教育文化課長【職員研修所企画課長】
▽村田和三郎（昭27商）教育文化課参事【民生総務課長代理】
▽梅沢誠治（昭17経）民生総務課長【社会課長】
▽山中治（昭25法）社会課長【泉北地方事務所長】
▽松田保（昭25法）農林総務課参事【通商観光課長代理】
▽篠原昭三（昭24法・昭29院修）職員研修所企画課長【同和対策室参事】
▽米田五一（昭28短）南河内府税事務所次長【東大阪府税事務所長代理】
▽上田万年（昭23法）中河内府税事務所次長【生野府税事務所長代理】
▽佐野日出雄（昭25経）池田土木事務所次長兼管理課長【道路課長代理】
▽森生博（昭27法）議会事務局図書室長【消防災課長代理】
▽有本淳一（昭26経）文化財保護課参事【生活総務課参事】
▽桜井勝（昭25経）図書館総務部長【体育会館副館長】
▽深尾弘（昭16法）社会教育課参事【教委事務局参事】
▽池田繁男（昭24法）体育会館副館長【社会教育課長代理】
▽森川清司（昭23専）監査第一課長【監査第二課長】
▽樋口陽（昭27商）府立大学庶務課長【府立大学厚生課長】（順不同）

電機の総合商社！
重電機器・住宅機器
照明機器・電子機器
冷暖房機器・昇降機器
空調・昇降機工事
創業大正10年　年商200億円
三菱電機(株)代理店
株式会社　立花商會
本社　大阪市西区阿波堀通2―47
電話（541）9521大代表
支店　東京・名古屋・堺・神戸
営業所　町田・鹿島・四日市

ホットな対話
暮らしにゆとりを添えるのが車であったら私達大阪日産は、豊かなカーライフに安心を添える企業と考えます。私達ディーラーは、もちろん車をお売りするのが商売、でもその前に、やはりお客様と心と心のかよう対話から始めたいものです。

ハードトップ 1800 SSS
心たかまる　ブルーバード
大阪日産
大阪市福島区下福島1―4
(06) 441―7951

能率にスチール棚
重役室から工具室まで
とにかく棚のすべてがあります
書架・物品棚・商品棚・可動間仕切
日本ファイリング
本邦最大のスチール棚専門メーカー
日本ファイリング
本社・東京都千代田区神田駿河台一の六（主婦の友ビル六階）
電話（294）1751（大代表）
営業所・大阪、名古屋、福岡、札幌
特約店・全国各地

関大博物館構想 (13)

資料と研究の組織一体化

大阪市立博物館学芸員　勝部明生

（一）

私は今、関大博物館の人文科学館古墳時代展示室にいる。考古部門の展示室は他に縄文時代室、弥生時代室、古代・中世室と、古代生産技術史室がある。考古学展示の中心は、関大博物館の設立の動機ともなった旧本山コレクションの豊富な資料と、大学が調査して収集した発掘資料や、広く民族学・民俗学資料を加えて比較展示された古代生産技術史室が知られている。

展示されている古墳出土品には、使用年代、材質、特徴などを和欧文で記した題箋（だいせん）が置かれ、これには分類番号、資料番号が付されている。この番号によって資料室に備えられているパンチカードで古墳の規模、形状（現存するか否かも）、出土状況、参考文献等の研究資料が引き出せるようになっている。さらに、このカードには同形式類品の所在、分布範囲などを調べる番号と、写真番号がついており、写真資料室に整理されているカードには資料の正面、後背面、内・裏面など研究上および保存上必要なあらゆる角度から撮られた写真（資料によっては顕微鏡による組織の拡大写真、拓影なども）によって詳しく調べることができる仕組になっている。

またこの資料室には有形資料のうちでも遺跡（記念物）建造物のように写真、図表等に置き替えて博物館資料となり得るものについても各地のものが整理、分類されており、文献資料室ではカードによって全国各大学、研究所の調査報告文献を引き出すことができて、館蔵資料とそれに関する研究が組織一体化されている。まさに、大学博物館のセンター博物館とも呼ぶユニークな存在を誇っている。

（二）

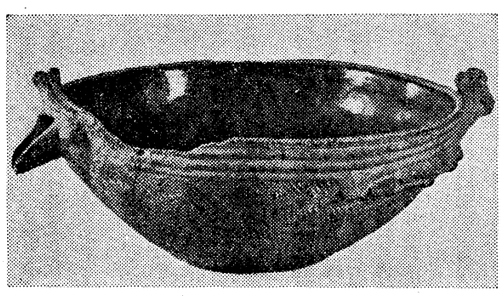
大学博物館は、大学教育のためのものであり、列品による研究、教育施設としてあることが基本である。従って、社会教育を目的とする一般博物館、美術館や資料の収蔵保管を兼ねた社寺等の宝物館とはおのずから性格を異にする。しかしながら、現存する大学博物館、資料館（室）はその機能を充分発揮しているところは存在していないようである。大部分の施設が資料の収納保管場所であったり、特別観覧制による小数学生の見学と、他機関への貸出しや博物館学実習、考古学演習の際に利用されているのが実状であろう。このような役割も大学博物館としては大切なものの一つではあるが、展示品を含む保存資料が研究資料としてすぐに活用できる施設でなければならない。そのためには、展示室、収蔵庫と併せて資料整理室、保存科学研究室などを設備する必要があろう。大学博物館は一般博物館と異って、野外調査活動によって生（なま）の資料が直接搬入される場合が多い。その整理・保存に関しては自然科学部門と共同して新らしい研究を開発しなければならない。

関大博物館は人文科学系博物館であれ、あるいは自然科学との総合博物館であれ、総合大学の研究成果がそこに活かされねばならない。古くから存在する大学博物館、陳列館において、資料がケースの中で死蔵されているのは、資料活用のための研究と大学における博物館の認識が低かった前時代的遺産に過ぎないといえよう。

展示、収蔵設備と共に、まず大学博物館は、独自の資料の整理分類法を確立して、カード・システムを応用し、調査研究に役立てねばならない。そのためにも大学博物館にたずさわる研究員は、少くとも展示解説、保存科学、写真、整理分類とそれぞれ専門を分けて研究できる態勢にしなければならない。なお、また関大博物館は広く一般社会人の利用にも供して、研究成果を学内外へPRする唯一の常設機関でありたい。国内外の調査研究等の成果を特別展示室で公開し、講演会、調査報告会等も兼ね行なうなど活発な普及活動ができるよう設備したいものである。

（昭36院修文卒）

考古学入門 (24)



縄文土器

片口土器と称される器形で、一方に注口があり、突起をつけて装飾する。これと反対側にも突起をつける。器面全体に縄文の施文があり、上端部には3条の沈線をめぐらす。出土地不詳。（関西大学考古学資料より）

新刊紹介

『文学は何ができるか』

「文学と前衛性」山村殞巳著
「文学の自律性」植松健郎著
「文学の党派性」小川　悟著
「文学における負の領域」小川雅也著
「文学の前衛性と構造主義」渡辺孝博著

紹介者　横田健一

本書は右の本学文学部助教授である五人の著者の五篇の論文を集めた論文集であるが、それは単なる独立の論文集ではない。山村、小川悟（以下、小川氏が二人あるので、悟、雅也と名前で区別して記す）両氏筆の「あとがき」によると、著者たちは少なくとも二十回近い討論会をもち、煮つめた結果が本書であるという。討論には、学生や関大生協の職員も参加している。つまり、これらの人びとは原体験としての一九六九年を持っている人々であるという。

原体験としての一九六九年とはすなわち昭和四十四年の大学紛争のことであり、さらに、もっと明瞭にいえば、全共闘の提起した問題を受けとめ、真正面から取りくんで、わが物とすべく悩み、考えたということである。

全共闘の提起した問題はいろいろある。その中にはゲバルトのように一般に受けいれ難い行動や大学ごとに異る特殊な問題もあったが、全国的に共通な問題として取り上げた一つの大きな問題は、大学の学問研究は、「真理のための研究」というアカデミズムを打ち棄て、象牙の塔を出て、人民に奉仕し、人民を解放するための学問であるべきだ、もっと端的にいえば、革命のためにつくす学問であるべきだ、というにあった。

これを若者たちの問題意識にいかえると、学問の政治的実践性と学問の自律性の矛盾・二律背反を如何に調和し、解決するかの問題となる。

学問には、いつまでもなく自律性がある。独立性がある。いかなる政治的権力にも、宗教的権威にも屈せず、学問的真理を主張し、守りぬくべき要請が当為としてある。ルネサンス以来、西欧近代科学が、科学として独立するために、いかに力トリックを主とするキリスト教の宗教的権威や封建権力と血みどろの悪戦苦闘をしたか、科学史をひもとく人は、よく承知しているところである。

しかも、かくして戦いとった科学の自律性を、人民解放のために、いいかえれば、新しい未来をつくる政治的闘争に奉仕させることと、隷属させることができるであろうか。学の自律性を捨てず、政治的闘争の武器となしうるであろうか。これは峻厳に対立するアンチノミーである。

文学をはじめ芸術は、常に人びとの未だ気づかぬ未来を先取し、人びとの意識下にある美を、真理を、リズムを精神構造をえぐり出し、分析し、照明をあてる。これが文学や芸術の価値観とは全く異質の価値観への転換がある。山村氏はかかる前衛意識の歴史的展望を試みる。とくに十九世紀末から二十世紀初期にかけての文学の質的転換が精神史的に把握されている。

植松氏はチューリヒ大学正教授でゲーテ研究の権威シュタイガーの通俗的伝統的モラルに基づいた文学観の誤謬、くだらなさへの痛烈な批判をもって、文学の自律性の問題提起を行なう。文学は宿命的に政治の桎梏に対応しなければならない性格、言葉の構造力を分析する。そして作品の自律性は作品自体に備わっていて、読者の自由な解釈を許すものとする。文学の自律性は作品解釈の多義性にあり、価値評価の絶対的審観性など存在しないといい切る。そして「話の政治的任務は、あらゆる政治的任務を拒否すること、と同時に万人のために語ること…」というエンツエンスベルガーの言葉をもってしめくくる。

植松氏の指摘は皆氏の「文学の党派性」において、もっと明晰に語られる。「美に感応する人間の能力は社会的であり、階級的である」という氏の言には異論ある人もあろう。しかしなおかつ文学作品の超時代性、超社会性をルカーチとともに認め、文学は政治権力の代弁者ではなく、権力的暴力とは無縁なものであり、自らの「上部構造性」を政治的に具現化できず、上部構造とは、本質的に相違する構造世界の中にあることを認めている。氏は「文学は両刃の剣である」とし、それは「革命を推進する媒体にもなるし、革命を倒すとも展示解説、保存科学、写真、整理分類とそれぞれ専門を分けて研究できる態勢にしなければならない。なお、また関大博物館は広く一般社会人の利用にも供して、研究成果を学内外へPRする唯一の常設機関でありたい。国内外の調査研究等の成果を特別展示室で公開し、講演会、調査報告会等も兼ね行なうなど活発な普及活動ができるよう設備したいものである。

（昭36院修文卒）

氏が「文学は何ができるかと問う場合、それが直接的な政治有効性に関した質問であるならば、そして、この書の期間以前は渡来書の数も少なく、紅葉山文庫の御文庫目録あり、以後には当時の澤校儒者の公私の蔵書で今日に残るもの少なくなく、大体が推察できる。最も渡来書の資料乏しく、当代の儒学界、漢文学界は最も隆盛時であっただけに、本書の価値は更に大きい。この度の刊行は正に我人の渇を癒すものであり、最近の気運に適応したものであって、学界を稗益すること多大なることうたがうべくもない。（文学部教授）

書斎の窓 (25)

中義勝

醒めた心と刑法学

素足して五月の水を渉り踏むふれてみてたしかな手ざわりがあり、踏んでみて足のうらにしっかりとした感触がある。人の言説はまさにこうしたものでなくてはなりますまい。そうでなければうわの空の言辞であり、隔靴掻痒の理説というもので、人をも納得させず、自分でもやりきれない想いを噛むことになりましょう。

しかし、どうやら、空語、空論をかこつことは言論人の宿命である かのようにも思われます。逆説的にいえば、なんべんかこの想いにさいなまれ、自家中毒の苦い味を舌の根いっぱいに嘗めたことのない言論人はほんものとはいえないような気がせられます。このような苦渋をかいくぐってこそ、ありのままにものをみる眼がすこしずつ開かれ、醒めた心でちかにものの道理を洞察することができるものらしいのです。もちろん、こうした開眼にはきりというものがなく、醒めたと思ってもまだまだ半醒であることが多いようです。

このことは、芸道であれ学問であれ、およそ人間の知恵と名のつく一切のものにあてはまることだと思いますが、ここではわたくしのかかわりをもつ刑法学がどれほど「正気の沙汰」でなかったかについて、すこしばかりお話しをいたしましょう。

カント哲学の呪縛

「人格はまさに自己目的であって、他のものの手段として利用されてはならぬ」。カントのいわゆる絶対的応報刑論はこの言葉から出発いたします。刑罰は、犯人が罪を犯したといっただけそれだけの理由で科せられるもので、世の人々のみせしめにするとか（一般予防）、犯人自身の改善、再社会化（特別予防）といった目的のための手段ではない。犯人もまた尊うべき存在であり、これを過ちの一個の人格であり、これを過ちの一般または特別予防目的をもってすることは、あたかも彼をこれらの目的のための道具におとしめるものである。これはなかなか格調の高い言説であり、きわめて魅惑的です。この絶対的応報刑論は、その後、フォイエルバッハの一般予防刑論によって圧倒されましたが、やがてヘーゲル、ビンディングにおいて再興され、現在でも「カント、ヘーゲルからの超脱」を叫ばしめねばならないほど根強い影響力をもちつづけています。「責任のたかだけ罰する」というのは、責任を上まわって処罰することはもちろん、これを下まわって罰することも不当であり、これではいたずらに世間の人々の不評を買うばかりだというのがこれです。つまり、絶対的応報刑論は、ここでは、責任という新しい衣装を身につけて再登場し、責任主義に徹することが、やがて一般予防にも役立ち、犯人自身も真に自己の犯した罪に首服して、特別予防目的もとげられることになるとするものです。これでは、なんのことはない、もとの木阿弥です。

犯罪人は「一般予防目的の手段として」罰せられる

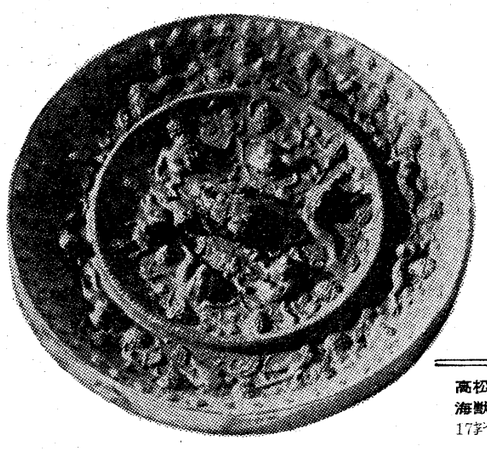
ところが、最近、カントの出発的命題に果敢な挑戦をする学者が現われてまいりました。シュミットホイザーという刑法学者です。彼は、憶面もなく、つぎのように申します。カント哲学に酔いしれた眼をこすって、よくよく現実を直視してみよ。一体、国家はなんのために刑罰を用いるのか。失なわれた正義を回復するために、笑わせてはいけない。国家は正義を名としてなんとおただしい不正義を犯してきたこと。「正義」という麻酔薬はもう沢山だ。国家が犯人を処罰するのは、これによって他の人々を戒しめ、国家秩序を防衛するためではないか。一切の虚飾をかなぐりすて、端的に言を用いるならば、「犯罪人は一般予防目的の手段として罰せられる」というところに真相があるのではないのか。これは、まったく大胆不敵な発言です。しかし、現実を直視すれば、誰もにわかには不当とはいがたい赤裸々な事実の重みを感得せざるをえぬものがないでしょうか。その是非はともかく、わたしはここに醒めた心の一例を認めうると考えます。

責任とはフィックションである

ところで、右の一般予防刑論に対しては、たちどころに以下のような常套的批判がはねかえってまいりましょう。一般予防か一般威嚇とかいっても、刑が重ければ重いほど効果があり、刑の熟行が厳しければ厳しいほどよいといったものではなかろう。重かるべきところには軽く、軽かるべきところには厳しく罰してこそ、真に世間の人々もその処刑の然るべきゆえんを納得し、法の権威を信頼して法秩序も安定する。ところが、その軽重を測る基準は「犯人の責任」であり、責任とは一体なんのことでしょうか。今日、それは、罪におちいらぬような犯人に期待できたのに、あえて（まったく不注意にも）罪を犯したことがけしからんとして彼を非難することができることだとされています。期待可能性の理論または規範的責任論とよばれているものです。期待可能性の強弱に応じて責任の程度がきまるのです。もちろん、これにはいろいろ問題があります。期待可能性の理論は、その後、ヴェルツェルの目的行為論によって、期待可能性の理論は、ますます強くなってきました。期待可能性の理論は、ますます強くなってきました。期待可能性の理論は、ますます強くなってきました。

天文遁甲の推理

高松塚古墳の壁画発掘



高松塚古墳出土の海獣葡萄鏡（直径17㌢）

【一】

あけてびっくり玉手箱ということがある。こんど本学関係者多数参加のもとに行なわれた明日香の高松塚古墳の発掘がそれであろう。一体誰れの墓であろうか。それがすばらしい壁画を持っているだけに誰しもそう思うに違いない。

その気持、もちろんわからないでもないが、実はその前にどの階級の人の墓であるかを考えておく必要があるのではなかろうか。ことに大化の墓制にこだわって大きさだけで下級貴族の墓だろうという意見も聞かれるからなおさらである。大化の墓制には王以下は小さい石を用いよとか、人夫の数の制限とかがあることも忘れるべきでない。見もしないでえらそうなことはいえないが、やはり天皇級の墓ではなかろうか。文武陵ではないかという伝承とともに、小字名のミササイ（キ）というのもそのことを物語っているように思われる。

【二】

旧明日香村の野口に、天武持統の合葬陵がある。正式には檜隈大内陵というのであるが、野口の地がはたして檜隈といえるかという点で疑った人もないではない。しかしそんな懸念を払拭する事実が出て来たのであった。

もともと天武持統陵は他の合葬陵に見られぬ特色を具えている。それは天武天皇は棺に納めて葬っているが、皇后であった持統天皇は火葬であったため、骨壺が用いられているということである。それが鎌倉時代の盗掘を機に内部の様子が明らかになって、まさしくドンピシャリであった。したがって天皇一般の陵に信をおかないつむじまがりも、天武持統陵だけはというのが現状のようである。

しかし残念なことに、それは盗掘のことを伝える藤原定家の明月記の読みそこねではないかと思われるふしがないでもない。明月記にはある坊さんが訪ねて来ての話として、女帝の骨はその入れものの銀器がほしいので中味を路傍に捨てて待ち去ったと見えている。一体見もしないで銀器があったなどとどうしていえるのであろうか泥棒以外には誰にもわかるはずのないことである。実のところ、骨を入れた銀器はあったかも知れないが、なかったかも知れないのであって、天武持統陵もその意味では絶対とはいい切れない。それに檜隈の地と思われないことが大きな比重をもってのしかかって来るのである。

【三】

ここで話は飛躍する。ズバリいって、こんど発掘せられた高松塚こそ天武持統陵ではないかと考えたい。まぎれもなくそこは檜隈の一部である。

日本書紀には、天武天皇は天文遁甲をよくしたと見えている。そんな天皇はほかにない。その天皇が天体図の描かれた天井を眺めて永遠の眠りについている。誰が考えたか、すばらしい着想ではないだろうか。それに日も月も描かれているという。

実は三方に描かれた青龍、白虎玄武としてからが、いずれも天文に関係のある二十八星宿を示す図柄である。東南に配せられるべき朱雀に関する報告は聞かないが、ないう方がむしろ都合がよい。というのも朱鳥の年号を荷う天武天皇こそ朱雀そのものであるからである。朱鳥と朱雀とが同じものであることは字書を見れば明らかであろう。

それでは東西両壁に描かれている人物をどのように考えたらよいであろうか。日本書紀には天武天皇のなくなった時、殯宮行事の一環として弔辞の読みあげられたことを伝えている。その順序は近しいものから、中央官庁、地方国庁さては別遇を受けていたと思われる九州の隼人、大和河内の帰化人に及んで、最後は百済王禅広の代読で終っている。その最終段階に登場する異国人、それが東西両壁の人物である。中間を略して威令の及ぶもっとも遠い国の人たちを描くことによって、そろう。

それにしても、大君は神にしませば神とあがめられた天武の陵にしては、いかにも小さいことが気になる人もあるに違いない。壁画を描くために石材の制約のあったこともさることながら、自らの葬式を倹約に従うべきことを遺言した持統天皇によって作られていることも考慮に入れるべきではなかろうか。

あるいは石室の小さかったことの国威を誇示する、いわば八隅知し大君を具体的にあらわしたものと見られないだろうか。それが限られた壁面をもっとも有効に用いたことにもなるのである。

それにしても、大君は神にしませば神とあがめられた天武の陵にしては、いかにも小さいことが気になる人もあるに違いない。壁画を描くために石材の制約のあったこともさることながら、自らの葬式を倹約に従うべきことを遺言した持統天皇によって作られていることも考慮に入れるべきではなかろうか。

あるいは石室の小さかったことが、仏教の影響はもとよりのこと持統自らが火葬を決意した理由であったともいえそうである。すでに盗掘せられているので火葬を示す骨を入れた器があったともなったともいい切れない。また今日の新聞は特殊撮影をすれば文字もあらわれて墓のあるじも明らかになるのではないかと伝えている。一刻も早く実現して、こんな推定がやはり夢物語にすぎなかったことを立証してくれることが望ましい。それが宮内庁のお役人のいう天皇陵の静安を保つことにもつながるからである。

（よ）

続 関西大学を築いた人々

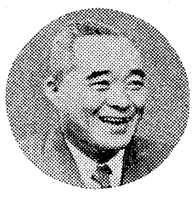
大川光三

文学部教授　横田健一

大川光三（みつぞう）は明治三十二年三月二十日大阪府高槻市富田町で父元吉の長男として生まれた。家業は農業で、約一ヘクタールの田をつくっていたが、すべて小作田地であった。父はきわめて厳格で負けぬ気のつよい人で、できるだけ始末をして金をため、田地を買うことにつとめ、小作農からぬけ出して、自作農となった。

大川光三は中学に行くことを許されず、父の農作を手伝っていたが、向学の志を捨て切れず、中学講義録をとって独学をはじめた。彼の自叙伝「かしまだち」に次のような少年時代の日記帳からの引用がある。

「やよい十一日――薩摩を休んで今日は一日野良仕事だ。……（中略）もう春だ。午戻り柳川の洗濯橋で釣する人の魚籠を覗くと大きなのが沢山はねていた。…横町の辻まで戻ると我家の戸口に郵便が挿んであるのがチラッと見えたので、さてはと鍬をかついで倶馳け出して行って見ると案の定それは待ち憧れていた中学会の講義録であった。一学年の第一号！、そうだ。これからでも遅くはない。同窓の友は今や中学校の二学年に進級せんとしている。けれど僕にも茲に糧は与えられたのだ。歩！歩！独学で進んで行こう。徒に友を羨み親に愚痴をこぼすは男子の本懐ではない。…仕事に一段落が付いたので堤に上って親子三人炊り豆の袋を中に一服する。草の上に投げ出した講義録に春風がつまずいてパラパラと快い音を立てる。と新らしい紙の香が鼻を打って僕の読書欲は益々高まって来るのだった」



少々長い引用になったが、彼は少年時代から筆まめであり、文章が上手であった。青年時代からは双舟と号して俳句をたしなみ、大阪法曹界の俳人仲間でつくっている鳴子会の常連であり、その選者に一服する。草の上に投げ出した講義録に春風がつまずいてパラパラと快い音を立てる。と新らしい紙の香が鼻を打って僕の読書欲は益々高まって来るのだった」

少々長い引用になったが、彼は少年時代から筆まめであり、文章が上手であった。青年時代からは双舟と号して俳句をたしなみ、大阪法曹界の俳人仲間でつくっている鳴子会の常連であり、その選者二回送られて来る大日本国民中学会の講義録を寸暇を惜しんで勉強した。大正八年十月、神戸商業会議所施行の商業簿記試験に合格した。大正九年四月二十一日、専検（中学校卒業程度検定）に合格した。

彼はもはや給仕ではなく、正式の行員で監理課員となったが、課は専門学校出ばかりで、彼の名は名簿の末席にあった。彼はなんとか上級学校に進学したいと発憤した。

人情味厚い庶民性

独学で弁護士試験合格

七才になったばかりの少女を、難なくつり上げた…私たちの生れたのは、大阪と京都の丁度中程にある…富田という小さな村だが、かれの恋人はそこから一里ばかり離れた茨木の町はずれに住んでいた。かの女の家はポプラにかこまれた牧場で、いつも離れてひとり寝起きしていた。

かれがかの女とあいびきをするときは、私はいつもこの一里の道をテクテクと歩いてついて行った。目的地に近づくと、かれは口笛で合図をした。……」

まあ、こういった調子の文がつづくが、牧歌的な恋は成り立たなかった。そして第二の恋をお得意先のお嬢さんとした。彼女の両親ことになった。彼は少年時代以来、制服制帽をきることに憧れていたが、生活費の窮迫から、とてもそれを買えなかった。それで福島の校舎の塀の外で待っていて、校内から乾の投げてくれる角帽を借りて校門をくぐったのである。

ところが秋の試験のとき、急いで登校しようとして中折帽を手にもち、登校をぶっていないために、制帽励行実行委員数名にさえぎられた。

「コラー、制帽なくしては入門を許さんぞ」

「チャンこの門をくぐる者は売店の親爺でも掃除婦でも、そして学生角力の指南番の関取でもですか。」

「いやそれは別問題だ。原則として学生たち者は絶対に…」

「アア左様ですか。わたくしは実は庶務課の方に一寸用件で参りました者で御座いますが…」

「フフン一商人かーはいってもよいー」

その日の民法総則の試験で講師菅原博士から、彼は九十六点をもらい、二学期の成績表の石翼の最初に彼の名がはり出された。

「一体一番の男はどんな奴だ。一寸も顔を出しくさらんね」

と角帽姿の実行委員が傍でつぶやいているのを彼はいつまでも忘れられないといっている。

その年の春に、彼はつきのようなニュースを聞いた。それはその大正十一年の秋に行なわれる弁護士試験を最後として、専門学校までの学歴のものには永久に受験資格がなくなるというニュースである。それで彼は四月から九月までの六カ月間、一通りの法律書を読破すべく決心し、これまで買い集めた経済書、文学書、思想書を全部まとめ、妻とともに梅田新道の古本屋へ持っていって法律書と交換してもらい、それでもなお一通り揃わないので、母が徴兵検査のときにこしらえてくれた大島の対の着物を質に入れて泉一新殿の日本刑法総論と各論上下二冊をそろえ、勉強にかかりかかった。

二学年の新学期からは関大へは顔を出さず、法学の勉強に没頭した。しかし不幸、試験は失敗におわった。そして翌年一月二十四日妻の父がなくなった。

だが司法試験受験の資格はとり消されなかった。司法受験生資格登録はしたが三年間、なおも加島銀行につとめたのち、昭和二年四月六日独立して天神橋畔船越町に事務所を開設した。

そして三十二歳のとき、昭和五年大阪府会議員になって出て当選し、当選四回、やがて副議長にまでえらばれた。

昭和十五年、四十二歳のときには衆議院議員として出馬し、当選二期つとめたが、彼の尊敬する先輩・高橋達之助が大阪の彼の選挙区から立候補することをしていきどおり、よく地盤をゆずった。

そして、大阪府知事となった左藤義詮のあとをついで、昭和三二年四月の参議院補欠選挙にめでたく当選した。得票数六五万四〇九四票である。彼がこれだけの票を集め得た理由はなんであろうか。

それは左藤の地盤をつぐのであるはずがなかったからである。彼の明るい庶民性、人情味の厚さ、身辺の清潔さなどもあずかっていよう。

彼は、その後もう一期参議院に出たが、腎臓をわずらい、高血圧があるため、慎重を期して政界を断念した。

この間、参議院法務委員長、三六年七月通産省政務次官、法務委員会理事、参議院自民党政策審議会副会長、裁判官訴追委員等を歴任、兼任した。

しかし弁護士をやめたわけではなく、四十余年にわたって、仕事をした。

彼が弁護士の職務をみずから尊重したことについては、次のような文章をしるしていることでわかる。

「三〇数年前、弁護士を開業した初めての元旦に、私は恩師の許へ年始に伺って、先生のお宅の床の間に、三宝に乗せて法服が祀られ、鏡餅が供えてあるのを見て深く感銘した。爾来これに習って正月毎に法服を祀っていたが、終戦と共に法服が廃止されたので、その後は業務用の鞄を祀って来た」

このように自らの職務に誇りと敬重の念をいだいている人は他人からもまた推重される人であろう。

釣と俳句と登山

彼は趣味として釣をこのみ、弁護士の同好の士と近畿各地に主として川釣をたのしんでいる。本学で長らく商法を講師として講じた西本寛一博士などは親しい釣友であったようである。

代議士となってからは、関東方面の各地にも釣の範囲をひろげた。彼は大阪釣友連盟会長としての鳴子会に東京に未練のこさず鰯雲とよみ入選した。十月二十四、五両日西本寛一博士等の仲間と若狭に釣に興じて長寸の競争で一等をとった。

「大川君のあんな嬉しそうな顔はみたことがない」

と西本博士もいったというが、その後、わずか十日余りの十一月七日早朝急逝した。享年六十六歳。

朝来降雨のふりしきる十二日に大阪弁護士会館で葬儀がいとなまれたが、会葬者で盛儀であった。筆者も参列して焼香したのが、ついこの先日のことのようにおもわれる。

三男二女があり、長男光男は産婦人科医、二男立夫は弁護士、長女明子も弁護士に嫁し、三男克夫氏は本学文学部フランス文学科の教授である。よき夫人、よき子女にめぐまれ、生涯を釣に、俳句に、たのしい生活をおくりこの生涯であった。

おねがい

次の方々が連絡不能になっております。ご存じの方は、564吹田市山手町三丁目三五、関西大学校友会名簿係までお知らせ下さい。

昭和18年9月専門部第一部
▽高等商業学科　足立勝信　青木正夫　井上昭郎　飯田欣一　池田忠二　石村康男　磯貝利秋　岩佐利男　宇山和男　大輪義雄　岡本誠史　河合清　木庭豊工藤章三　久賀三郎　櫛部房之助　倉田公裕　小林三郎　剱菱重明　小桜芳夫　寿島市蔵　佐藤喜代輝　杉本勝信　田辺浩　田原千里　滝口祐弥　角井健治（蟹瀬）　桝井一郎　飯田俊三郎　古富清　峰房美　宮脇章　村上孝雄　森井彬　山崎進　山田博　山本景明　吉田洋

昭和19年9月専門部第一部
▽商業学科　天野重成　井上幸吉　井上時則　池田康博　石井正員　今城敦夫　栄藤健二　大石善四郎　大川肇　岡橋貞治　掛合貞　柏原幾雄　鎌田喜代一　釜下高弘（細見）　川口富之　北口勝　北角勝　木村芳樹　日下圭太郎　小谷茂雄　小寺房雄　小久保敏之　児島吉晴　児玉千利　後藤重一　佐藤敏夫　佐藤睦旦　定兼嘉男　沢田福三郎　篠田勝三　柴田慶四郎　島田芳男　杉山輝夫　鈴木司郎　砂川忠夫　田中稔　谷口光広　塚本健次郎　常国要　富田巌（釣谷）　戸井和　豊島喜代司　中島辰也　中村硬　中本陽　達一　西尾博彦（成尾）　西川安雄　造　林英次郎　比嘉良栄　平沢潤一郎　藤崎博士　本多正明　前田清　松岡年幸　松田輪一　三島信治　三宅弘太　宮野章　宮本広光　森川三郎　森永正樹　安井宇一　柳原治美　矢倉朝一　矢内原和一　福田武士　山腰定雄　山田忠男・山辺優　山本昇　山本律作　湯浅慶興　吉岡憲一

昭和20年9月専門部第一部
▽経営学科　挨沢富男　井上俊雄　浅尾永一　伊原本秀雄　飯島平三　池田誠一　興山藤喜男　大島義進　太田清　大石一郎　大島義一　大野鉦平　小林洋子　佐藤一郎　佐藤豊治　神原政夫　柴田秋雄　坂口栄一　柳原治美　山田清　山本一郎　山本昭二　西口義朗　野口一真　花野安雄　原田昇　日山

昭和22年9月専門部第一部
▽商業学科　伊藤正人　石井淳一　宇野義男　臼井勝　河埜正　久保郁夫　佐藤豊治　神原政夫　柴田安治　鎧正夫　谷本潔　堀谷一郎　真治　中塚甲太郎　中井昭　中野孝良　前博信　野間安友　橋本秀男　英圭　村上英夫　安井治郎　山内富　阪本英雄　坂本吉弘　笹本武次郎　清水吉男　塩谷次雄　高井幸治　高橋正吉　寺村達也　中島淳夫　長崎敏男　西村幸司　中島淳夫　長崎敏男　西村富夫　西本弘　丹羽清　根津彦祐　馬場恒吉　林義輝　藤田正徳　前田寛　前野嘉三　増田富三雄　松岡豊次郎　三河富夫　村上行弘　山口彰　吉田愛治　吉村泰一　米田勝

昭和23年9月専門部第一部
▽商業学科　井原勇雄　石田士寿　内海長次郎　小倉修　大谷博夫　大谷松年　大土晴市　大堀邦和　大谷昭夫　加納利　加藤知男　柳雄　大谷昌一　増田三男　松室亘　鳴田哲郎　松浪孝一　松本栄一　鳴田哲郎　増田三男　松井喜太郎　松本栄一　谷口義範　三好行雄　味村昇　水谷民　向谷富次　安井昌一　柳下六佐　山口真木　山田隆茂　山中啓治　山本勲　山本泰次郎　山本真人　横田昌也　吉田宗治　吉本圭三　李根植

昭和24年9月専門部第一部
▽商業学科　飯代精一　池脇敏郎　大山茂行　太田恵康　岡田靖司　奥村光雄　桑田健市　小西清　小森田亮介　河村二郎　下野政種　杉山八郎　桜井昭吉　武繁国治　谷口経典　寺口啓次郎　東門徹　中本幸雄　深蔵勝美　藤井宏　三谷盛人　宮内正伍　村岡陽之助　村上誠一　森田一美　横山明　吉岡一高　渡辺隆雄

昭和25年9月専門部第一部
▽商業学科　柿本重義　細川栄（大崎）　小菅和夫　小林保夫　田中栄次　田中比呂志　辻春重和　中島成夫　中地唯夫　堀潤之介　西川俊一　牧野昌輝（雅一）　本和郎

昭和26年9月専門部第一部
▽商業学科　赤木千春　東寛　有吉誠三　井上敦雄　五十川信男　石坂成光　乾恕五郎　今泉一英　上野隆男　内平正明　梅津幸生　浦川竜雄　加藤定　田辺素昌　蒲田実　上河内譲　平信男　川本昭夫　木村克広　沢田雄　桑原利広　小森田彪　正広　広沢忠　広田貴雄　福井四郎　古田守　町田陽一　松下康三　柳川幸雄　山口清　山下義一　脇望　渡辺竜平

昭和24年9月専門部第一部
▽商業学科　飯代精一　池脇敏郎　大山茂行　太田恵康　岡田靖司　奥村光雄　桑田健市　小西清　小森田亮介　河村二郎　下野政種　杉山八郎　桜井昭吉　武繁国治　谷口経典　寺口啓次郎　東門徹　中本幸雄　深蔵勝美　藤井宏　三谷盛人　宮内正伍　村岡陽之助　村上誠一　森田一美　横山明　吉岡一高　渡辺隆雄

昭和25年9月専門部第一部
▽商業学科　柿本重義　細川栄（大崎）　小菅和夫　小林保夫　田中栄次　田中比呂志　辻春重和　中地唯夫　堀潤之介　西川俊一　牧野昌輝（雅一）　本和郎

昭和26年9月専門部第一部
▽商業学科　赤木千春　東寛　有吉誠三　井上敦雄　五十川信男　石坂成光　乾恕五郎　今泉一英　上野隆男　内平正明　梅津幸生　浦川竜雄　加藤定　田辺素昌　蒲田実　上河内譲　平信男　川本昭夫　木村克広　沢田雄　桑原利広　小森田彪　正広　広沢忠　広田貴雄　福井四郎　古田守　町田陽一　松下康三　柳川幸雄　山口清　山下義一　脇望　渡辺竜平

昭和24年9月専門部第一部
▽商業学科　飯代精一　池脇敏郎　大山茂行　太田恵康　岡田靖司　奥村光雄　桑田健市　小西清　小森田亮介　河村二郎　下野政種　杉山八郎　桜井昭吉　武繁国治　谷口経典　寺口啓次郎　東門徹　中本幸雄　深蔵勝美　藤井宏　三谷盛人　宮内正伍　村岡陽之助　村上誠一　森田一美　横山明　吉岡一高　渡辺隆雄

昭和25年9月専門部第一部
▽商業学科　柿本重義　細川栄（大崎）　小菅和夫　小林保夫　田中栄次　田中比呂志　辻春重和　中地唯夫　堀潤之介　西川俊一　牧野昌輝（雅一）　本和郎

移転

▽青野昌平（昭6大法）尼崎市塚口字募ノ前四三一
▽井上勝弘（昭41学一経）明石市西明石町三丁目一一番二一号
▽稲原耕（昭39学一経）東京都世田谷区桜丘二一八一七日本住宅公団千歳桜丘団地一〇五号
▽今村達雄（昭34学二法）八尾市山本町北四丁目三番一〇号
▽植松康有（昭44学一経）徳山市初音町一一八森兄アパート内
▽上井隆介（大15専法）川内市久見崎町二五九番地
▽梅原行生（昭45学一商）吹田市新芦屋下一八番一号
▽大石智三（昭29学一経）吹田市千里丘下一七番九号
▽大内淳次（昭37学一法）山形市双葉町二丁目五の二四
▽大塚豊久（昭41学一法）藤井寺市梅ケ園町一番四九号
▽大塚淳（昭39学一新）豊中市新千里南町一丁目住供一〇階一〇三
▽岡田尚明（昭34学一法）大阪府南河内郡狭山町大字今熊七八三番地の二狭山住宅六号棟一〇一号室
▽岡本正輝（昭44学二英）和泉市鶴山台二丁目一〇番五一号棟三〇一号室
▽岡本純（昭46学一国）茨木市庄一丁目二六の一四第二〇三和荘
▽奥田耕三（昭35学一商）姫路市飾磨区細江字柳一八一山陽特殊鋼㈱柳社宅二一二号
▽大竹口隆明（昭42学一法）尼崎市西難波町二丁目七番一八号
▽音田昇（昭42工機Ⅱ）豊中市倉東町二五七の二
▽梶浦孝司（昭37学二史・昭39学一経）豊中市東豊中町五丁目一番地一二六棟一〇四
▽片岡健彦（昭39学一法）吹田市
佐竹台一丁目四番地四二一
久出ケ谷町七五一二
▽川瀬竜二（昭40学一法）千葉県船橋市習志野台三一一一六一一〇四
▽紀平暉（昭35学二経）茨木市鮎川三丁目一五番一八号
▽岸英紀（昭46学一法）岡山県津山市林田字大山五三六一七野介代山邦穂　鯉田鶴一　佐野正義　斉藤勲　笹尾進　島村隆夫　下垣内寛治　田多勝　田中克宏　田村勇人　高橋順三　高松正　谷川豆良　谷安徳　浜田保広　浜谷三郎　浜田武男　肥後裕之　広井朋一　松田幸治　松本克巳　万行秀昭　三浦諄也　三浦光文　宮崎秀雄　宮本秋男　森川威雄　山口健彦　山崎陽一郎　吉田憲治

▽**法律学科**　赤松直躬　浅井正行　朝田一也　荒井文男　飯田竜男　飯田康二　石井鷹　石佐喜朗助光　稲本誠四郎　中本陽　逢一　中島辰也　中村硬　西川安雄　西尾博彦（石井）　大野鉦平　押立吉男　金子直幸　紙谷菊雄　数見喜美夫　菊田昭三　川畑仙二　川村博志　本戸勝之　北松虎雄　小林政雄　後藤作　湯浅慶興　吉岡憲一

昭和23年9月専門部第一部
▽商業学科　井原勇雄　石田士寿　内海長次郎　小倉修　大谷博夫　大谷松年　大土晴市　大堀邦和　大谷昭夫　加納利　加藤知男　柳雄　大谷昌一　増田三男　松室亘　鳴田哲郎　松浪孝一　松本栄一　鳴田哲郎　増田三男　松井喜太郎　松本栄一　谷口義範　三好行雄　味村昇　水谷民　向谷富次　安井昌一　柳下六佐　山口真木　山田隆茂　山中啓治　山本勲　山本泰次郎　山本真人　横田昌也　吉田宗治　吉本圭三　李根植

▽中尾正史（昭17専二法）奈良県北葛城郡王寺町葛下一丁目一一二五西安寺住宅団地
▽中岡彬彦（昭41学一英）大和郡山市小林町四二〇一九〇
▽中崎紀夫（昭45学二経）明石市貴崎一丁目三番一号
▽中島隆（昭40学二商）横浜市磯子区洋光台三丁目二七の三五
▽永幡泰男（昭11専一商）西宮市苦楽園六番町六番一六号
▽永幡泰彦（昭45学一商）西宮市苦楽園六番町六番一六号
▽長野貞信（昭38学二法）高槻市西之川原二丁目三〇番地一七
▽中橋徳蔵（昭3専商）神戸市東灘区魚崎町北町七丁目七一〇
▽西川みちよ（昭44学一商）西宮市津門住江町七一八
▽西山寛（昭45学一商）日立市若葉町三丁目一〇の六
▽能勢生治（昭29学一商）豊中市千里園三丁目八番一九号
▽野村邦尚（昭40学一経）吹田市寿町一丁目一〇番九号中山マンション三階六号
▽畑中久之（昭19専二法・昭24大法）豊中市新千里西町二の一A二三一一〇五
▽浜田精造（昭28学一経）吹田市
▽林茂男（昭45学一商）高槻市牧田町一三一九番地富田団地五〇棟五〇四号
▽原田克彦（昭42学工機）大阪市天王寺区真法院町二三八
▽伴義孝（昭38学一商）神戸市東灘区甲南町二丁目五番二二号
▽肥田木光（昭25学一経）堺市浜寺昭和町五一六〇八
▽平山文泰（昭38学一法）明石市西明石町五丁目六番一〇号
▽深田栄三（昭17大予2、昭21大法）大津市瀬田南大萱町一二三〇の二
▽深見英隆（昭40学工電）益田市大字高津字舟入一二八の六六久大紡績㈱益田工場内
▽福井照明（昭27短大2）宝塚市清荒神四丁目一一八
▽福島悦司（昭44学工管）堺市南陵町四の一五五
▽藤井貞夫（昭22学一経）姫路市飾磨区細江五山陽特殊製鋼三光社宅一一八
▽藤木昇（昭44学一法）堺市高倉台四丁目三番五一〇六号
▽船曳成章（昭37学一商）相生市旭一丁目七一一五
▽星田睦夫（昭43学二法）神戸市兵庫区五葉町二丁目四番三〇一四〇三号
▽穂積實（昭37学二商）加賀市山代温泉七区
▽前田明彦（昭40学二法）明石市太寺町四丁目一一番二一号
▽前田利雄（昭38学一法）河内長野市南貴望ケ丘一二六一一五
▽牧孝（昭43学一法）三木市緑ケ丘町西一丁目五番一一
▽増野大三郎（昭11専二法）豊中市服部寿町二丁目三番一四号

▽白井豊（昭20関甲）東京都調布市入間町三一一一三（ベンネーム東田健二）
▽白井仲市（昭46学一経）尼崎市生津西開地二番地吉田荘
▽新川良樹（昭43学一商）箕面市桜五一八の二第二あけぼの荘
▽鈴木徹（昭39学工電）奈良市中登美団地D五〇一三〇七
▽鈴木光彦（昭46学一経）神戸市長田区片山町五丁目二三マンション神撫内
▽田中文悟（昭43学一経）大阪市天王寺区上汐町四一三一
▽田野一成（昭45学一法）神戸市垂水区舞子台町一四一四
▽多和田功（昭15学二商）寝屋川市平井池町三六番五号洋光池住宅
▽千住正男（昭12専一商）名古屋市千種区猪高町猪子石字延珠二四九
▽出井稔（昭44学一商）神奈川県大和市下鶴間二八六くろがね寮内
▽鳥越民雄（昭44学一法）神戸市灘区楠丘町六一五一三

pokk
NIKKA BAR POKKA
●三津寺店―南区三津寺町10　213-1269
（但し三津寺筋を御堂筋西へ20m）
●心斎橋店―南区心斎橋中2の32　213-0521
●北新地店―北区永楽町19番地　344-6091～2

▽住宅団地
▽岸本幸次郎（昭12専一法、昭15大法）鎌倉市大町五一七
▽北野瓊（昭40学一経）門真市大字門真一〇四八松下電工㈱
▽栗田得吉（昭13専一商）名古屋市昭和区車田町一丁目四九番地の二
▽小林薫（昭39学一商）八尾市西山本町四丁目四番九号
▽小林政治（昭40学一経）八尾市
▽小原四郎（昭41学一商）明石市
▽西条利一（昭34学二商）明石市
▽佐伯薫一郎（昭42学一商）豊中市新千里南町B団地A一棟四〇四号
▽坂根巽（昭16専二商）神戸市灘区水車新町三学大土ケ平七五一一八
▽坂本和行（昭46学一法）千葉県船橋市東船橋七丁目一の八高木証券㈱船橋営業内
▽坂本忠仁（昭43学一商）明石市西明石町五丁目六番五号
▽坂本忠一（昭37学一経）岸和田市春木泉町一七の二一
▽崎谷三郎（昭12専一法）大阪市西淀川区歌島一丁目四番一〇号
▽佐々木令顕（昭24専二法）奈良市学園南三丁目一三番一一号
▽佐藤治子（昭29学一国）茨木県鹿島郡鹿島町佐田山文商事㈱鹿島営業所
▽沢野稔（昭38学一経）愛知県東海市横須賀町二の割一九小浅商事㈱内
▽沢田文男（昭41学一法）八尾市東山本町六丁目九一二七
▽澤山治仁（昭26学工機）西宮市小畑根町二丁目一の一七
▽塩谷龍義（昭42学一新）神戸市須磨区離宮前町一丁目一番二九号
▽鹿谷研一（昭46学一法）奈良市
▽清水ひでみ（昭44学一国）名古屋市瑞穂区弥富ケ丘町二丁目二七コポ弥富ケ丘一〇二号
▽白川俊雄（昭42学一経）八尾市小阪合町二丁目五番九号
▽白井上勝弘（昭41学工化）明石市公団千歳桜丘団地一〇五号
▽今村達雄（昭34学二法）八尾市山本町北四丁目三番一〇号
▽植松康有（昭44学一経）徳山市初音町一一八森兄アパート内
▽上井隆介（大15専法）川内市久見崎町二五九番地
▽梅原行生（昭45学一商）吹田市新芦屋下一八番一号
▽大石智三（昭29学一経）吹田市千里丘下一七番九号
▽大内淳次（昭37学一法）山形市双葉町二丁目五の二四
▽大塚豊久（昭41学一法）藤井寺市梅ケ園町一番四九号
▽大塚淳（昭39学一新）豊中市新千里南町一丁目住供一〇階一〇三
▽岡田尚明（昭34学一法）大阪府南河内郡狭山町大字今熊七八三番地の二狭山住宅六号棟一〇一号室
▽岡本正輝（昭44学二英）和泉市鶴山台二丁目一〇番五一号棟三〇一号室
▽岡本純（昭46学一国）茨木市庄一丁目二六の一四第二〇三和荘
▽奥田耕三（昭35学一商）姫路市飾磨区細江字柳一八一山陽特殊鋼㈱柳社宅二一二号
▽大竹口隆明（昭42学一法）尼崎市西難波町二丁目七番一八号
▽音田昇（昭42工機Ⅱ）豊中市倉東町二五七の二
▽梶浦孝司（昭37学二史・昭39学一経）豊中市東豊中町五丁目一番地一二六棟一〇四
▽片岡健彦（昭39学一法）吹田市
佐竹台一丁目四番地四二一
久出ケ谷町七五一二
▽川瀬竜二（昭40学一法）千葉県船橋市習志野台三一一一六一一〇四
▽紀平暉（昭35学二経）茨木市鮎川三丁目一五番一八号
▽岸英紀（昭46学一法）岡山県津山市林田字大山五三六一七野介代山邦穂　鯉田鶴一　佐野正義　斉藤勲　笹尾進　島村隆夫　下垣内寛治　田多勝　田中克宏　田村勇人　高橋順三　高松正　谷川豆良　谷安徳　浜田保広　浜谷三郎　浜田武男　肥後裕之　広井朋一　松田幸治　松本克巳　万行秀昭　三浦諄也　三浦光文　宮崎秀雄　宮本秋男　森川威雄　山口健彦　山崎陽一郎　吉田憲治

▽**法律学科**　赤松直躬　浅井正行　朝田一也　荒井文男　飯田竜男　飯田康二　石井鷹　石佐喜朗助光　稲本誠四郎　中本陽　逢一　中島辰也　中村硬　西川安雄　西尾博彦（石井）　大野鉦平　押立吉男　金子直幸　紙谷菊雄　数見喜美夫　菊田昭三　川畑仙二　川村博志　本戸勝之　北松虎雄　小林政雄　後藤作　湯浅慶興　吉岡憲一

昭和23年9月専門部第一部
▽商業学科　井原勇雄　石田士寿　内海長次郎　小倉修　大谷博夫　大谷松年　大土晴市　大堀邦和　大谷昭夫　加納利　加藤知男　柳雄　大谷昌一　増田三男　松室亘　鳴田哲郎　松浪孝一　松本栄一　鳴田哲郎　増田三男　松井喜太郎　松本栄一　谷口義範　三好行雄　味村昇　水谷民　向谷富次　安井昌一　柳下六佐　山口真木　山田隆茂　山中啓治　山本勲　山本泰次郎　山本真人　横田昌也　吉田宗治　吉本圭三　李根植

▽中尾正史（昭17専二法）奈良県北葛城郡王寺町葛下一丁目一一二五西安寺住宅団地
▽中岡彬彦（昭41学一英）大和郡山市小林町四二〇一九〇
▽中崎紀夫（昭45学二経）明石市貴崎一丁目三番一号
▽中島隆（昭40学二商）横浜市磯子区洋光台三丁目二七の三五
▽永幡泰男（昭11専一商）西宮市苦楽園六番町六番一六号
▽永幡泰彦（昭45学一商）西宮市苦楽園六番町六番一六号
▽長野貞信（昭38学二法）高槻市西之川原二丁目三〇番地一七
▽中橋徳蔵（昭3専商）神戸市東灘区魚崎町北町七丁目七一〇
▽西川みちよ（昭44学一商）西宮市津門住江町七一八
▽西山寛（昭45学一商）日立市若葉町三丁目一〇の六
▽能勢生治（昭29学一商）豊中市千里園三丁目八番一九号
▽野村邦尚（昭40学一経）吹田市寿町一丁目一〇番九号中山マンション三階六号
▽畑中久之（昭19専二法・昭24大法）豊中市新千里西町二の一A二三一一〇五
▽浜田精造（昭28学一経）吹田市
▽林茂男（昭45学一商）高槻市牧田町一三一九番地富田団地五〇棟五〇四号
▽原田克彦（昭42学工機）大阪市天王寺区真法院町二三八
▽伴義孝（昭38学一商）神戸市東灘区甲南町二丁目五番二二号
▽肥田木光（昭25学一経）堺市浜寺昭和町五一六〇八
▽平山文泰（昭38学一法）明石市西明石町五丁目六番一〇号
▽深田栄三（昭17大予2、昭21大法）大津市瀬田南大萱町一二三〇の二
▽深見英隆（昭40学工電）益田市大字高津字舟入一二八の六六久大紡績㈱益田工場内
▽福井照明（昭27短大2）宝塚市清荒神四丁目一一八
▽福島悦司（昭44学工管）堺市南陵町四の一五五
▽藤井貞夫（昭22学一経）姫路市飾磨区細江五山陽特殊製鋼三光社宅一一八
▽藤木昇（昭44学一法）堺市高倉台四丁目三番五一〇六号
▽船曳成章（昭37学一商）相生市旭一丁目七一一五
▽星田睦夫（昭43学二法）神戸市兵庫区五葉町二丁目四番三〇一四〇三号
▽穂積實（昭37学二商）加賀市山代温泉七区
▽前田明彦（昭40学二法）明石市太寺町四丁目一一番二一号
▽前田利雄（昭38学一法）河内長野市南貴望ケ丘一二六一一五
▽牧孝（昭43学一法）三木市緑ケ丘町西一丁目五番一一
▽増野大三郎（昭11専二法）豊中市服部寿町二丁目三番一四号

目の健康に！
視神経の疲れをとる…ビタミンB12配合
サンテドウ
赤いビタミンB12が目の疲れに効果的です。
参天製薬

【結婚】 八尾支部事務局長兼副支部長横谷武夫氏（代議員）長男紘一さん（工学博士・阪大工学部勤務）は三月二十六日新阪急ホテルにおいて、阪大村崎教授ご夫妻の媒酌で、中村恵子さんと華燭の典を挙げられた。

置田まきさん（校友会代議員置田徳治郎氏御母堂）は三月二十二日午後九時二十分逝去。九十才。

田中一枝さん（校友会参与・大阪南支部長田中藤作氏御令室）は三月十二日午前六時五十分逝去。

◇訂正　先月号（第一九七号）二面〝人それぞれ〟欄で、大弁連とあるのは大阪弁護士会の誤りでした。また地域支部一覧の中で八尾支部の電話番号は、八尾（二二）〇八六四でした。お詫びし、それぞれ訂正致します。

品質に生きる住江カーペット
住江織物株式会社
本社　大阪市南区安堂寺橋通4丁目55番地　電話 251―0081（大代表）
大阪支店　大阪市南区安堂寺橋通4丁目55番地
東京支店　東京都港区西新橋3丁目23番1号　電話 433―4171（大代表）
工場　住吉・河内・奈良・京都・網野
営業所　札幌・仙台・金沢・名古屋・広島・福岡

営業課目
常温鏡板機械加工
水圧プレス諸加工
大阪市西淀川区御幣島五丁目二ノ一五
阪神鉄工株式会社
電話四七一―七六二二番六〇一八番

営業課目
化学用諸機械
建設機械
水及油用タンク
大阪市西淀川区御幣島五丁目二ノ一五
イズミ鉄工株式会社
電話 代表 四七一―〇〇三二番

タケダ
和、洋、中華、どんなお料理の味づくりにも重宝です。
●タケダの調味料トリオ